

1. 対象部材  
ホームエレベーター昇降路

略称：CjK ホームエレベーター

2. 標準(共通)化の部位

標準(共通)化の部位を図1に示す。

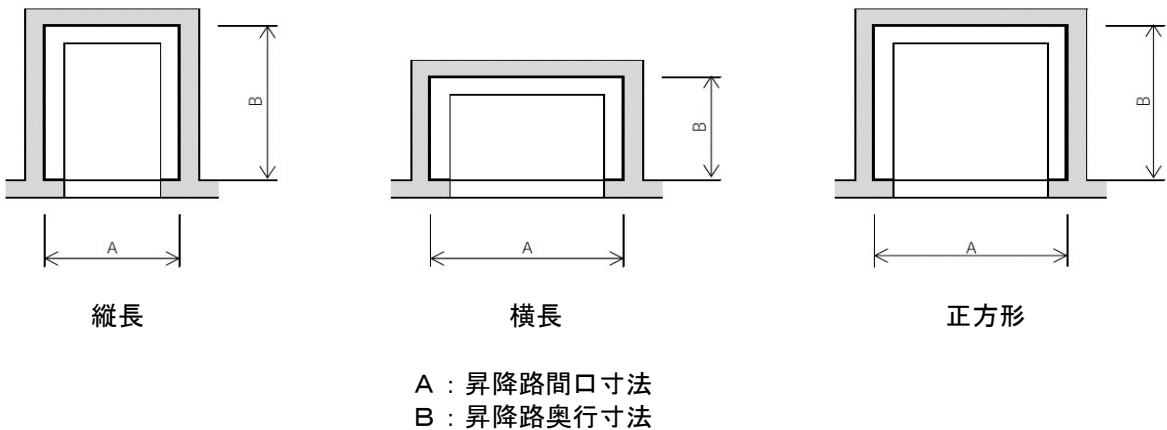


図1－標準(共通)化の部位

3. 寸法・形状

図1の各部位の寸法を表1に示す。

| 表1－各部位の寸法 |             |             |             |
|-----------|-------------|-------------|-------------|
| 2人乗り      |             | 単位：mm       |             |
| 項目        | 縦長          | 横長          | 正方形         |
| A         | 765≦A≦1040  | 1200≦A≦1675 | 1050≦A≦1220 |
| B         | 1220≦B≦1640 | 760≦B≦860   | 1100≦B≦1320 |
| 3人乗り      |             |             |             |
| 項目        | 縦長          | 横長          | 正方形         |
| A         | 1040        | —           | 1220≦A≦1370 |
| B         | 1640        | —           | 1220≦B≦1670 |

4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。  
または、“CjK”マークを表示する。

## 5. 特記事項

### 5.1 対象の範囲

機械室を有しない住宅用3人乗り以下の一方向出口の機種を対象とする。

### 5.2 留意事項

- ・エレベーターの入れ替えや新設にあたっては、昇降路開口寸法の確保に加え、昇降路の上部と下部の構造的な強度やメンテナンス空間の確保が必要な場合があることに留意する。
- ・3. 寸法・形状の寸法はエレベーターを交換するために必要な寸法を記載しているため、開口部が大きい場合は大工工事が必要になる可能性がある。

## 6. 解説

- ・エレベーター本体と昇降路のクリアランスは『昇降機技術基準の解説』の基準に準じる。
- ・本基準書は、エレベーターを入れ替える際の分かりやすい判断基準にするため、製品寸法ではなく、間口寸法と奥行き寸法を設定し、駆動方式（ロープ式、油圧式）を区分しないこととした。

## 7. 共通事項

### 7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

### 7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを前提とする。

注記) 専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。